

高田尚志

（本名）
（漢名）

繙譯家。明治二十一年十月四日宮城縣生れ（一八九一）。

東京帝國大學中退。戦後岩手縣曲磐井郡金澤村在住。

譯書、スビノザ著『知性改善論』（昭和六年四月五日岩波書店「岩波文庫」）、ホエテイウス著『哲學の慰め』（昭和十二年十一月一日岩波書店「岩波文庫」）、コアングラーとエロイーズ』（昭和十四年十月一日岩波書店「岩波文庫」）、スビノザ著『國家論』（昭和十五年十二月十四日岩波書店「岩波文庫」）、同『神學・政治論』全一冊（上巻、下巻・昭和十九年六月一日岩波書店「岩波文庫」）、同『エチカ』全一冊（上・昭和二十六年九月五日、下・十月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、同『神・人間及び人間の幸福に關する短論文』（昭和二十一年一月五日岩波書店「岩波文庫」）、ウナイダ作『フランダーズの犬』（昭和二十二年八月十日岩波書店「岩波少年文庫」）、スビノザ著『往復書簡集』（昭和二十三年十二月五日岩波書店「岩波文庫」）、同『デカルトの哲學原理―付形而上的思想』（昭和二十四年九月五日岩波書店「岩波文庫」）等。